

松中の絆

《6月行事》目標に向かって日々の学習に集中していこう 松茂中学校3年 2024年6月3日(月) 第6号

高校入試は団体戦 学級の雰囲気 学級の集中力 仲間への信頼と尊敬が 高校入試の結果を決定する

この言葉は、初めて中学3年を担任した1985年度より、クラスの生徒たちに語り続けた言葉です。それは、1時間1時間の授業の中で、私語がなく集中力がある学級集団であり、すべての仲間の力が引き出されていく人間関係が培われている学級です。

その学級は、休み時間、心が通う仲間と教え合い、各自が希望の進路について語り合い、一人一人が誇りと自信を持って頑張り抜く学級です。そのために、信頼でき、尊敬できる本当の仲間をつくと共に、皆さん自身が、信頼され、尊敬される存在になっていかなければなりません。

それは、皆さんが、日々の家庭学習に取り組んでいるとき、共に頑張っている友だちの顔が浮かび、その友だちの「頑張ろう」という共感と連帯の声が聞こえ、あと10分、20分、家庭学習をやり遂げる日常をつくっていくことにつながっていきます。

受験勉強を頑張り抜くキーワードは、仲間との「共感」と「連帯」「信頼」と「尊敬」であり、仲間や家族への「感謝」です。このことは、皆さんの日々の生活ノートの中にも、受験勉強をひたむきに頑張ったとき、しっかりと綴られていくようになっていきます。

そして何より、「自問自答」の中で積み上げられる日々の努力は、皆さんの進路を見事に切り拓いていく原動力となっていきます。

進学主任の城所先生の言葉「平日4時間休日8時間」を心の糧に「質」「量」共に充実した家庭学習に取り組んでいきましょう。

日	曜	6月行事予定
3	月	
4	火	
5	水	歯科健診13:20～
6	木	
7	金	北部A総体壮行会
10	月	
11	火	
12	水	尿検査(2回目)
13	木	
14	金	
17	月	6月22日(土)の振替休業日
18	火	①②学年人権に関する意見発表会
19	水	
20	木	地震津波避難訓練
21	金	⑤⑥校内人権に関する意見発表会
22	土	登校日
24	月	第1回総合実力テスト①理②英③国④数⑤社
25	火	期末実技教科テスト①自習②音③美④体⑤技 生徒会専門委員会
26	水	
27	木	
28	金	尿検査(3回目)

「狙いは優勝、思い出は一生」学校全体が生き生きと輝いた体育祭

5月17日(金)に実施した体育祭の写真です。開会行事とストレッチ体操からスタートした体育祭、綱引き、ムカデ競走、全員リレーを学級が一つになる皆さんの姿、今年で3年目になる縦割り活動の趣向を凝らした玉入れ、昨年度からスタートした様々なパフォーマンスに湧いた部活動対抗リレー、すべての種目で、皆さんは輝き、一人一人が全力で頑張ってくれました。そして、縦割り活動でつながっている他学年の仲間に声援を送る光景にも、皆さんの豊かな人間性が表現されていました。

生徒会長のRY君が提案し、みんなで選んだスローガン「狙いは優勝、思い出は一生」を掲げ、学校全体が生き生きと取り組んだ感動の体育祭について綴ってくれた生活ノートは、次回の「松中の絆」(7月行事)で紹介します。





※PTA参観授業の前に実施した「豊田雅俊さんのメッセージに学んだ人権学習」の記録です

主題「本気の生活ノートは人生を変える」
資料『豊田雅俊さんのメッセージ』(2024年4月14日のライン)

2024年4月20日(土)第1校時
 松茂中学校3年C組

《授業者 森口》

今日の参観授業は、全員に発言を保障します。今回のように、クラスの全員がする発言という機会は、2学期、第1回目の基礎学力テストの前後に予定している「進路について語り合う人権学習」、資料「一本の大根として」についての授業と今回の授業だけになります。

今回の体験が、義務教育最後の学級となった3年C組の中に「生涯の絆」をつくっていく機会になったら嬉しいし、皆さんの進路を切り拓いていく力になることを願って、詩「峠」について一人一人の思いや願いを語り合いたいと思います。

私は教員になって43年目になるんですけど、皆さんは私が出会った生徒集団の中でも飛びつきり優秀です。私にとって、皆さんの学年が、素晴らしい学年になると思った瞬間があります。それは、皆さんが入学して、すぐにあった対面式でした。1年の代表として、YKさんが上級生にお礼の言葉を原稿もなしに、自分の言葉で語り切ったとき、この学年はすごいと思いました。

このクラスには、生徒会長のRY君もいるんですけど、生徒会長としてのRY君のスピーチも本当に素晴らしいです。そんな一人一人の頑張りが、みんなの中に波及していき、皆さんの大なる可能性を引き出していきました。

今日の授業、学級開きの人権学習は、私にとって大きなよるこびです。このような学級開きの授業を最初の実施したのが、教師になった3年目のことです。40年前のことになります。人生の節目、詩「峠」について語り合う人権学習は、私にとって、教師をしていて一番うれしい授業となってきました。この授業には、いっぱい夢が溢れて、生徒一人一人の可能性がどんどん広がっていきました。

それでは、今からしっかりと挨拶をして始めます。2時間ぶっ通しの授業になりますが、集中して頑張っていきましょう。それでは、委員長、号令をかけてください。

《委員長》

起立、気をつけ！ お願いします！

《全員》

お願いします！

《授業者 森口》

今日は午前中の2時間、高崎先生にビデオを撮ってもらいながら、一つのクラスで集中的に授業ができることは、先生にとって本当に大きなよるこびです。もう1つ、無茶苦茶嬉しかったことは、学級開きの語り合いの人権学習を全クラスで実施できたことです。

1年、2年とやってきた学級開きの語り合い、参観授業として、全員が発表をしてきましたが、今年度は、全クラスが、語り合いの人権学習を授業として実施してきました。

3年生の学級開き、この授業は3年D組でした。これは驚きです。期待もしていたんですけど、去年の流れ、2年D組の生徒が結構多いということもあって、すごい語り合いになるだろうなと思っていました。他のクラスのメンバーは、去年の2年D組の雰囲気を知らないだろうけど、思いを主体的に挙手をして語っていく生徒が、数多くいて先生が一言もしゃべらずに語り合いの授業が成立していました。

1人が5分、10分語ります。その雰囲気がそのまま3Dの中に、広がっていく感動の授業となりました。そして、その感動は、3年A組の語り合いの中にも広がっていきます。この授業は、本当によるこびです。

そして、3年B組です。一生懸命に書いた原稿を読んで発表することも素晴らしいことです。3Bのすごい空気をつくったのは委員長のYK君でした。彼の語り教室全体に、熱いものを広げていき、清々しい語りを届けてくれました。彼が2分10秒くらいの語りでビシッと決めたら、次から次へと、誰ひとり原稿を持たずに語り切ったんです。これには本当に驚きました。感動しました。

そういう期待も込めて、3年C組の「峠」の授業をする前に、「オリンピック豊田雅俊さんに学ぶ人権学習」として、1年生の時、語り合いの授業をした豊田雅俊さんの話をします。

4月14日(日)、豊田さんに電話をしました。

3年生になった皆さんと「峠」の授業を全クラスですするという連絡をするための電話でした。

その電話をかけるきっかけは、3月31日(日)に横浜で開催した板野中学校の同窓会の写真をラインで送ってくれたことでした。

(同窓会の映像を示しながら)真ん中に座っているのは、昨年度みんなと学習した全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業の締め括りの語りをした3年B組の委員長だったYIさんです。右隣にいるのは、全体学習を常にリードしてくれたKMさんです。反対側にいるのが豊田さんです。

この写真のお礼も兼ねて、彼に、4月14日(日)に電話しました。その電話には出ませんでした。10分くらいしてラインの電話がかかってきました。

「先生、今キルギスに来ています。」

「キルギスってどこ？」

「中央アジアです。しばらくキルギスに滞在します。」

そんな会話をして、実は「松中の絆」の冊子に「板野中学校3年B組に学ぶ」という授業をした記録が載っている。

その中に「板野中学校3年B組が日本一なら、僕らのクラスが板野中学校の3年B組を超えて、日本一のクラスになりましょう」と宣言したクラスがある。

これは去年の2年D組というクラスなんだけど、そんなクラスの生徒たちが、3年生になって、中学3年のスタートラインに立った思いを語り合う「峠」の授業をすると伝えたいです。

しばらくキルギスという国にいるということだったので、「帰ってきたら、またメッセージを送ってください」と伝えました。そうしたら、一昨日、4月18日(木)にラインが来たんです。

他のクラスは、授業が終わっていますから後日に紹介することになるんですけど、3年C組は参観授業としてまだ間に合うからということで、知り合いの先生に朗読を頼んでパワーポイントの教材をつくってきました。

昨夜仕上がったばかりのパワーポイントです。

豊田さんが、キルギス共和国から送ってくれた皆さんへのメッセージを聴いてください。

《朗読・資料「豊田雅俊さんからのメッセージ」(2024年4月18日)》

松茂中学校の皆さんこんにちは

2024シニアレスリングアジア選手権大会と2024パリオリンピックアジア予選大会帯同ため、4月7日からキルギス共和国(中央アジア)に来ています。4月23日に帰国予定で、約2週間の遠征になります。現在の私は、東京2020大会後に2024パリオリンピックに向けて編成された強化委員会の強化副委員長として、強化委員長の補佐を務めています。今年の8月に開催されるパリオリンピックで、日本選手が活躍できるよう全力でサポートに取り組む日々を過ごしています。

2008年に選手を引退し、新たな目標を考えた時にレスリング界へ恩返しをする事を目標にしました。「どの様な立場であってもレスリング競技の普及・発展のために尽力する」

志が定まります。

2009年から2020東京大会まで、全日本グレコチームのコーチを務めましたが、今の役職はコーチを育てる立場で3スタイルを統括し後進の指導に当たっています。私は1976年の辰年生まれ、今年で48歳です。

中学2年生から3年生までの2年間、学校生活の中で森口先生と仲間達との学びは、現在の私にとって素晴らしい糧となり活かされています。そして仲間との絆は私の宝物です。自分の思いを発言するには勇気がいります。

間違ったことを言っていないか。人からどのような印象で見られているか。不安な気持ちで胸が苦しくなります。しかし、不安な気持ちに負けず思いを発言すると胸がドキドキしたり、スッキリしたり今も当時と変わることはありません。

私の人生の中で、どの様な場面で当時の学びが活かされているかと言うと、この遠征でも活かされています。

アイコンタクト(目を見て会話をする)

中学2年生の時に担任の先生が「俺の目を見る！目は口ほどにものを言う」大きな体で目を見開き第一声を発しました。それ以来、人と会話をする際は目を見て会話をするように心掛けました。人の目を見て会話をするにあまり慣れていない日本人は、海外の人と会話をする時に目を逸らしてしまいます。しかし、海外の人は目を見て会話をします。

国際大会では、いろいろな国の人とコミュニケーションをとります。目を見て会話をしなければ失礼に当たるし信用もされません。

思いを伝えるイコール意見する。

会議などで意見を求められたり、上司に対して意見具申をする場面があります。思いを伝えなければ、本当の意見を伝えることはできません。抽象的な意見となり上司は参考になりません。これでは評価されずに力を発揮することができません。

日々の学校生活で、皆さんが自分の思いを語り合い、お互いを尊重し合うことを学ぶ場として素晴らしい時間を過ごしていることを10年後、20年後、そのまた数年後に改めて感じると思います。

3年生の皆さんは自分の進路について真剣に考えていると思います。

峠の詩を教材として語り合ったでしょうか。今まさに決定が求められています。じっくり考えてください。これから社会人として成長して行く第一歩となる岐路に立ちます。恐れることは何もありません。迷ったり、失敗した時は岐路に立ち戻りまた考えれば良いのです。失敗を恐れずに前に向かって進むことが重要です。

最後に自分の人生(未来)を豊かにする為には本を読むことです。人生を歩んで行くためには経験が必要です。本を読むことで多くの疑似体験ができます。本を読んで得た疑似体験や知識を自分の経験として活かすことができます。アニメ、小説、趣味に関する本や政治、経済など、どのジャンルでも良いと思います。興味を持った本を読んでみましょう。

私が最近、読んだ本では、徳川家康全26巻(山岡荘八歴史文庫)

竹千代(家康)が生まれてから天下統一を成すまでに色々な困難を乗り越えて行く人生を描いた作品です。徳川家康の言葉に「堪忍は無事長久(ちょうきゆう)の基(もと)、いかりは敵とおもへ」とあります。

仕事をする中で、毎日のように判断を求められますが、状況を把握し冷静に判断するように心掛けています。今、この時間を皆さんと共に学んでいけることを心より感謝いたします。

《授業者 森口》

彼は今、警視庁のレスリング部の監督であり、ナショナルチームのヘッドコーチから、今は、そのコーチを統括するという強化副委員長という立場にいます。

彼が中学時代に語った私の言葉に「教育はまなざし」と「話は目で聴く」という言葉があります。

今日、ここで語るのもそうです。下を向いて語るのも語りです。よそを向いて語るのも語りです。その人の目を見て、カメラの方向にまっすぐ向いて語った時に伝わるものは極めて大きいんです。それがみんなの評価になっていくんです。そういう力をつけるんです。きちっと眼を見てまっすぐに前を見て語る。そんな力をつけていくんです。

もう一つ、豊田さんを語る時、生活ノートが一番出てきます。彼の生活ノートはずっと大切な思い出として、私の心に生きています。濃い字で書かれたこの文章に、この生徒は何か強いものを持っていると思い続けました。

「自分の気持ちが書けている。自分の願いが書けている。これからも自分の気持ちをぶつけてこい。」

この言葉は、彼への尊敬の気持ちを込めて書き続けた返事です。

彼は、中学時代の学びを糧として、高校、大学、社会人と彼の深い学びは、しっかりと積み上げられていきます。

さっきの写真で女の子2人と並んでいたろう。あの2人の女の子は、豊田さんを心から尊敬しています。そして何より、豊田さんは人を大事にするんです。だから3人はずっと仲良しです。1人は鎌倉市、1人は横浜市、豊田さんは東京都の麻布に住んでいます。年に2～3回3人の同窓会をして、その度に豊田さんから連絡が来て写真を送ってくれます。

彼の語っている人権学習の映像を紹介します。彼はこの語りの中で、私の言葉、「話は目で聴く」を語っています。この授業は、豊田さんとのかけがえのない思い出として生きています。

昨年度、皆さんに紹介した全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業の3週間後に実施した徳島県中学校同和教育研究大会公開授業での発言です。

【授業記録】 第21回徳島県中学校同和教育研究大会公開授業(抜粋) 1991年11月19日(火)

《豊田雅俊さんの発言》

2年生の最初に森口先生と出会って、その時に先生が、「わしの目を見い。」と言って、「目を見て話をするもんじゃ」と言って、先生の目を見ていて、この先生はちょっと違うなと思いました。それで、いろんな資料を勉強していく中で、最初の方は、何とか自分の書いていることでも発表しようと考えて、震えながらも手を挙げて発表していたんだけど、繰り返し授業があった中で、発表しないで授業を終えたら楽だって。その後の授業も発表せんと下を向いて授業を受けたら楽だって。でも、このままずっとおるんではあかんと思うて、何回か手を挙げて言おうと思ったんやけど、なかなか手が挙がらないでいたんだけど、差別は絶対に許したらあかんし、周りの雰囲気流されて部落の悪口を言う人間に絶対ならないためにも、楽な道を選ばずに、僕自身を鍛えるためにも発表していかなあかんと思うし、その頑張りが、大きくなっても周りの雰囲気流されないような人間になっていくことにつながると思います。

《授業者 森口》

彼と共有してきた言葉は、「教育はまなざし」と「話は目で聴く」は、私の教育実践を支え続けています。そして、互いの心の支えとして「峠」の詩が生きています。彼は、この思いを警視庁のレスリング部のメンバーに、また、ナショナルチームの中でもずっと語り続けています。

「峠は決定をしいるところだ」と「自問自闘」という言葉がいつも出てきます。そして、彼の人生を変えたのが、中学2年からずっと積み上げてきた1日1日の生活ノートです。

中学3年の締め括りに綴った生活ノートは、彼の人生にとって、大きなものとして生きていくことになります。この生活ノートに綴ったオリンピック出場を実現した「有言実行の生活ノート」です。

《朗読・「有言実行の生活ノート」》

中学校での3年間を振り返るとき、僕は本当に成長したと思います。

中学3年になって、毎日当たり前のように書くようになった生活ノート、今ではノート1頁をアツという間に、自分の思いでいっぱいになることができるようになりました。そして、この3年B組の仲間にはいっぱい元気や勇気もらいながら、自分自身の思いを堂々と語っていくことができるようになりました。僕の中学生活、本当に素晴らしい仲間にはいっぱい力をもらい続けた3年間だったと思います。

柔道を通して、僕は、「人間を尊敬し信頼する」という人間として最も大切なものを学ぶことができたと思っています。

四国のチャンピオンになることもできました。僕は、この柔道でつかんだ夢をもっと大きなものにしていくために、高校でのレスリングに自分のすべてをかけ、最高の努力を続けることを自分の目標にしていきます。そして、この僕を思いっきり大切にしてくれた仲間に応えていくためにも、絶対、レスリングでオリンピックに行きます。僕には、3度のチャンスがあると思います。

その最初のチャンスが19歳。2回目は23歳です。まず、この2回のチャンスを実現するために僕は全力を尽くします。

そして、3度目のチャンスは27歳です。

19歳、23歳、27歳と自分の夢を実現していくために努力することは、簡単なことではないと思います。でも僕は僕の可能性を信じて頑張ります。どんな19歳、23歳、27歳になっているかは想像もつきませんが、僕は柔道を通して学んだ努力することの大切さや、自分自身の表現力を高めてくれた板野中学校の仲間の期待に応えていくためにも頑張ってみせます。

《授業者 森口》

豊田さんからのメッセージ、改めて紹介した「有言実行の生活ノート」から皆さんにどんな思いが広がっていききましたか。皆さんの思いを豊田さんに届けてくれればと思います。委員長。豊田さんへの思い語ってください。

《3年C組 YK》

1年生の時に、豊田さんの授業を初めて森口先生にしてもらって、私はスポーツとかそんなに得意ではないので、オリンピックに出るという目標を叶えたことが本当にすごいなと思っていて。私には夢があるので、その夢を、今日この後の語りでみんなに語ってそれを実現できるようにしたいなと思っています。

私も、最初豊田さんの生活ノートを読んだ時は、すごく面白いなあというか、自分の正直な思いが書けていて、すごいなあと思いました。自分だったら、あんな正直な思いを生活ノートに書けないし、それを、こうやってみんなに資料として何世代も伝えていく勇氣があるのは本当にすごいなあと思いました。

私も、生活ノートには、自分の正直な思いだったり、テストの結果とか、あった出来事、嬉しかったこととか全部書くようにしてるけど、そこまで真剣に書けたことはなかなかないなあと思ったので、豊田さんを見習って、私も今日家に帰ったら、今日の語りで学べたことだったり真剣な思いを綴ろうと思います。ありがとうございました。

《授業者 森口》

他のクラスでも言ったんですが、こんな中学生はいません。みんなの語りは本当にすごいです。先生は、様々な中学校、高校や大学でも、語り合いの人権学習を実施してきました。附属中学校の3年生との語り合い、東京大学や京都大学などの有名大学に合格者を出している高校での語り合い、広島大学や愛媛大学教育学部の教師になろうとしている学生との語り合いも体験してきましたが、皆さんとの語り合いは、そんな中学校や高校、大学生の語りにつながる素晴らしい語り合いができています。みんなの言葉の力は素晴らしいものがあります。1年生の学級開きから積み上げてきた語り合いの成果は、皆さんの中にしっかりと定着しています。では、KFいこう。豊田さんに向けて語ってください。

《3年C組 KF》

豊田さんの話を聞いて、めっちゃすごいなあって思って、僕は今、みんなより1番上っていうところが何もなくて、自慢できることもあんまりないんですね。それで、なんかいつも中途半端にやってきてたんで、何事も一生懸命やって1番にもなりたいし、生活ノートもなんかずっと適当に書いてきて、あんまり今まで書いてなかったんで、これからちゃんと書いて、思いを綴っていききたいです。ありがとうございました。

《授業者 森口》

本当にすごいです。言葉ってどんどん出るんですね。RY、自分のことを堂々と語っていこう。

《3年C組 RY》

僕は豊田さんの話を聞いて、夢をちゃんと叶えるところが本当にすごいと思いました。夢を実際に実現できる人って、いっぱい努力せなあかんし、いっぱい挑戦していかないといけないからです。僕にも夢があるんですけど、それを叶えるためにはいっぱい挑戦せなあかんし、いっぱい努力していかないとダメです。しかも、豊田さんは、そのことをしっかりと生活ノートに綴っていたけれど、僕は生活ノートに自分の思いや自分の本心を綴ったことがまだあまりありません。だから、僕はこの豊田さんの話を聞いて、少しでも自分の思いや自分の本心を生活ノートに綴れるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

《授業者 森口》

この数か月のRYの成長は素晴らしい。卒業式から入学式にかけて本当に変わっています。この豊田雅俊さんがどんどん成長していった姿と重なります。どうか自信を持って最高の中学3年を頑張り返いでください。今日の語りも見事です。では、RSいこうか。

《3年C組 RS》

豊田さんの話を聞いて、豊田さんはすごい純粋で努力家なんだなあって思いました。自分にはオリンピックに行くための3度のチャンスがあると、自分の夢を設定しているのを見て、僕は太谷選手と似ているなあと思いました。僕は太谷選手と同じくらいすごい人なんだなあと思いながら聞いていたんですけど、同じ生活ノートなのに、豊田さんは全然違う文章を書いていて、僕は出来事や感想を書いているだけなんですけど、すごい豊かな感性がある人だなあと思って見ていました。だから、僕も自分の思いを書いて、言葉に表せるように頑張りたいです。ありがとうございました。

《授業者 森口》

見事です。本当に見事です。大学生の語りに負けていません。そういう力、本当の思いを語る力は、体験の中から培われていきます。1回1回の語り、1回1回の舞台を通して慣れていくんです。その体験から自信が湧いてくるんです。では、YIいこう。豊田さんのメッセージから学んだこと、しっかりと語ってください。

《3年C組 YI》

僕は豊田さんの話を聞いて、僕とは性格が真逆だなあと思いました。ちゃんと将来について考えて、明確な目標を立てて、そのためにはどうすべきかということを考えて、それを有言実行するというのがすごいと思いました。僕は行動力がないので、そういうのを身につけていたらいいなと思います。自分にも夢があるので、豊田さんみたいに努力して夢を実現できたらいいなと思います。ありがとうございました。

《授業者 森口》

先生は生活ノートを41年前からしているんです。41年前に教えた子の生活ノートが先生の世界を変えてくれた。みんなにもそういう力があって、みんなの生活ノートにも、ずっと励まされています。本気の文章、本気の生活ノートを書いてください。その営みが、みんなの人生を限りなく豊かなものとしてくれます。では、KH、いこう。

《3年C組 KH》

豊田さんの話を聞いて、自分は「すずめになりたい」とか考えないし、だからすごいなあと思いました。豊田さんみたいな大きい夢はないし、目標もないけど、ちゃんと考えて目標をつくっていききたいと思いました。

《授業者 森口》

では、HY、いこうか。

《3年C組 HY》

豊田さんの話を聞いて、豊田さんは中学の時は柔道、高校からはレスリングで、そのままレスリングでオリンピックに行ったと思うんですけど、豊田さんのモチベーションは何かっていったら、レスリングだったと思うんですけど。僕のモチベーションは、勉強とかそんなのではなくて、陸上が1番だと思っています。豊田さんはレスリングが強いというので、そのままオリンピックに行ったと思います。僕は自慢ではないですけど、自分で足が速いと思っているので、中学で陸上に入ったし、高校ではどうなるかわかりませんが、できれば陸上も続けたいなと思っているので、自分の好きなことを続けるっていうのも、モチベーションなんじゃないかなと思っています。ありがとうございました。

《授業者 森口》

では、MF、いこうか。

《3年C組 MF》

私は、豊田さんの話を聞いて、夢を語るっていうのはすごいことだと思いました。しかも、それを生活ノートに書いて実際に実現していたことがすごいなと思いました。私は、あまり生活ノートにそういうことを書かないので、それを見習って、もっと自分の気持ちを書けるような生活ノートにしていきたいです。ありがとうございました。

《授業者 森口》

中3というのは強い決意があるんです。これからの学習内容には、なかなか厳しい内容もあって点も上がらない人もいます。テストの度に、逆に下がったりもするんです。すっごく揺れるんです。その時に、やっぱり自分と向き合います。生活ノートに本気で書くんです。本気で書いた文章は、ずっと自分を応援してくれるんです。自分の糧になっていくんです。急遽実施した豊田さんの授業、本番の参観授業を前にして、しっかり語り切ることのできる皆さんはすごいです。では、MT、いこうか。

《3年C組 MT》

豊田さんの話を聞いて、1番に思ったのは、やっぱり、努力家なんだなと思いました。私は生活ノートは2行とか3行で終わってしまうし、豊田さんみたいに努力ができてないというか、努力が続かないですけど、3年生になって受験もあるので、努力して行きたい高校に行けるように頑張りたいと思います。

《授業者 森口》

では、SH、いこうか。

《3年C組 SH》

私は、豊田さんの話を聞いて、最後まで諦めず努力できるというのは本当にすごいなと思いました。私は何かをする時、努力するというのがあまりできないので、これから何事にも一生懸命努力して頑張れる人になりたいです。ありがとうございました。

《授業者 森口》

あと2人で終わります。HK、いこう。

《3年C組 HK》

僕は豊田さんの話を聞いて、生活ノートで夢を明確に示した豊田さんは、本当にすごいと思いました。僕は正直、生活ノートは毎日2行〜3行くらいしか書いてないけど、豊田さんは丸々1ページ書いていたと聞きました。僕も1度は丸々1ページ書いて、自分の夢をしっかりと書いていきたいと思います。ありがとうございました。

《授業者 森口》

生活ノートのスタート、2行、3行だった内容が、やがて半ページになり、ひらがな中心だった文面が、段々と漢字の量が増えていく。「ああ、人間ってこんなに変わるんだ」と思い続けた生活ノートに何度も出会ってきました。毎日ひたむきに積み上げる生活ノートって、生徒の運命を変える。人生を変える。そんなことを実感してきました。最後をAGで豊田さんから学んだことの語り合いを終わります。いこう。

《3年C組 AG》

私は、豊田さんの生活ノートを見て、私とは全然違うなあとと思いました。私は、1年生の時はその日にあったことを1行〜2行書いていただけで、でも、豊田さんは自分の正直な思いを生活ノートに書けていて、すごいなあとと思いました。今、私は3年生になってから生活ノートを頑張っている。なので、これからも継続できるようにしたいです。

※この後、「最終学年のスタートラインに立って」をテーマとして、詩「峠」について語り合うのPTA参観授業「学級開きの人権学習」が展開されました。この参観授業の記録は、他の3クラスの語り合いの記録とともに実践記録集「松中の絆」に掲載します。

《仲間の生活ノート》

高校入試という大きな試練に直面する中学3年の生活ノートには深い感動が伝わってきます。

自己と向き合い、誠実に生きるよろこびが溢れる生活ノート。今回は、4月12日(金)から5月13日(月)までの生活ノートです。

友だちの思いや願い、ひたむきに頑張る姿を通して、自分自身の生活をみつめてみましょう。

4月12日(金) 頑張れないくらい頑張ったと言える1年にしたい

中学3年になって1週間が経ちました。時の流れは速いなあと改めて感じます。今年は、全ての行事に“最後の”という言葉がきます。私は教師になるわけでもないのに、本当に中学校の行事全てが最後です。後悔しないようにしたいです。また、私には行きたい高校があります。なりたい職業もあります。その高校に行くために、夢を叶えるために、少しずつ努力をして成長していきたいです。とは言え、私は、継続はそこまで得意ではありません。よく途中でやめてしまったり、変えてしまったりします。自分が書こうとした日記は2日続かなかったり、サボテンに水をあげ忘れて枯らしてしまったり、そんなことがありました。でも同じ失敗をするのは嫌です。だから、今年は勉強も部活も学校生活も、全力で頑張ります。サボテンも枯らしません。1年後、「もう頑張れないくらい頑張った」そう言える年にしたいです。頑張ります。

4月15日(月) コツコツ本を読み、読解力を身につけ、国語の点数をよりよいものにしていきたい

今日、4つのテストが返却されました。僕は全てあまり自信がありませんでした。特に自信がなかったのが国語です。3年間ずっといい点を取ったことがなく、一番の苦手教科です。元から読書をするのが好きではなく、あまり読書をしてきませんでした。なので、読解力があまりついておらず、いつも70点台を取っています。僕は、頑張って80点以上は超えたいと思っているので、4月からコツコツと少しずつ本を読み、自分の少しの読解力を基礎学力テストまでに少しでも大きなものにして、基礎学力テストや入試で通用するように、1日1日を大切に、受験まで一生懸命勉強したいです。

4月15日(月) 体験入部を通して思うこと

今日は、体験入部で多くの1年生が来てくれました。そんなに来ると思っていなかったのと、とても驚きました。男子も女子もいたけれど、特に男子は元気いっぱい、とても楽しそうに練習してくれていたのが良かったです。女子は何人か固まっていたので、入部するかは少しわからないけれど、他の部活も面白いところがたくさんあるので、ゆっくり決めて欲しいです。私も1年生の迷っている気持ちがわかるので、早く学校に慣れたらいいなと思います。次の部活では、今日よりも丁寧に対応したいです。

4月16日(火) ロシア革命の授業から考えた戦争のこと

今日は、社会の授業でロシア革命について勉強しました。私には、その革命が良いことなのか悪いことなのか、あまりよくわかりませんが、その時代のロシア人にとって良いことだったそうです。歴史をたどっていても、いつの時代も戦争ばかりで、今、安心して安全に暮らせているのは、当たり前なことではないんだと改めて感じさせられました。戦争は、何百万人の人々を奪ったり、戦争に使うためにお金をたくさん使ったりなど、誰にとってもいいことはないはずなのに、領土やプライド、賠償金を得るためだけに、なぜこんなにも自分たちを苦しめるようなことをするんだろうと思いました。私は絶対に戦争に反対です。なぜなら、家族や友だちなどといった大切な人や私が大好きなバレーボールをすることなどを奪われたくないからです。私は今の時代に生まれて来て良かったです。日本は今戦争をしていないからです。こんな日々が続くことを願っています。しかし、日本の外では紛争や戦争などが起きています。それも、一刻も早く終わればなと思いました。

4月17日(水) 今年の抱負は、やって来なかったことも取り組み継続していくこと

私は、今のところ生活ノートを1日1ページ以上書くことが継続できています。今まではできなかったことも頑張ってみることで、できるようになると思います。「継続は力なり」というように、生活ノートを1日1ページ以上書くことで書く力を育てていきたいです。今年度の抱負は、今まではやって来なかった(できなかった)ことも取り組み、継続していくことです。継続することはとても難しく、途中で大きな壁にぶつかり、消極的になることが多々あると思います。私は今までそうでした。最初は口だけで、「絶対最後まで頑張る」と言って、でも、壁にぶつかったらすぐ諦めての繰り返しでした。周りのみんなはどんどん成長して自分とは離れていくのに、私はずっと自分に甘え、1歩踏み出すことができませんでした。

でも、2年生の時に1回だけ手を挙げて人権発表を発表できました。発表するか迷っていて、すごく緊張しました。まだ発表していないのに、頭が真っ白になって、背中から火が出ているくらい熱かったです。でも、勇気を振り絞って手を挙げた時、今思うと本当にすごいことをしたなと思いました。クラスの男子は、何回も手を挙げて、原稿を見ず堂々と語っていました。本当にすごいなと思います。私からしたら、1回でも発表できた自分を誉めたいなと思います。自分を成長させるために1歩踏み出すことは大切なことです。何でもやってみないといけません。今回の発表はいつもとは違い、参観日に発表があります。いつも以上に倍以上に緊張すると思います。

もし、この発表が全員発表じゃなかったら、挙手制だったら、私は手を挙げないと思います。すごく勇気がいることで、もしかしたら緊張して死んでしまうかもしれないからです。でも、全員発表だから絶対にしないといけません。逃げ道はありません。いつも逃げ道があったから嫌なことを避けてきたんだと思います。今回は絶対なので、するからにはいい思い出になるようにモチベーションを上げて、たくさん練習して本番2分以内で発表できるようにしたいです。今日はまだ水曜日だけど、考えるだけですごく緊張します。みんな同じ気持ちなんだ。みんな自分と闘っているんだ。他の子に負けていられないと、競争心を持って本番に取り組みたいと思います。ドキドキするけど、人生で考えるとこれくらいの緊張は全然大ごとじゃないと、ポジティブに考えていきたいです。明日は、全国学力テストがあります。国語と数学があつて、国語は得意教科だけど、数学が一番苦手なので、すごく不安です。テストと言っても、テスト勉強は何をしていいかわからないので、点数がどうなのかとても不安だけど、全力を尽くせるよう早く寝ようと思います。いい点が取れるように…。明日の5時間目に体育があつて50m走をします。今までに7秒台を取ったことがなく、去年7秒台を狙っていたのに、8,0秒でとても悔しかったです。なので、中学生最後の体力測定は、7秒台を目指して頑張ります。そして学年で1位を取れるようにしたいです。とても緊張するけど楽しみです。緊張することが怖いとかいろんな感情があるけど、結局楽しんだもの勝ちだなと思います。なので、明日の50m走も土曜日の人権発表も緊張しつつも楽しみたいと思います。

4月17日(水) 語り合いの学習で、印象に残ったFさんの発表

今日は、語り合いの学習がありました。私はFさんの発表が印象に残りました。共感できることしかなかったからです。まず、Fさんは3年生になったという自覚がなく、教科書に前のクラスと出席番号を書いてしまったと言っていました。私は今でも1年生の時のクラスを書いてしまう時があります。1年生の時と教室が同じだからという理由ですが、1年生はさすがにやばいなと思っています。そして、Fさんは縦割り活動の時に身長が153cmと言ったそうですが、同じ班の1年生に「自分は155cm」と言われたそうです。私も小学校からの友だちで、身長がすごく伸びた友だちを見て、少し危機感を持ち始めました。追いつかれそうで怖いです。Fさんは、発表が最後でとても緊張していたと思います。みんなが共感しそうなことを言っていたので、みんなの印象にも残っていると思います。

4月18日(木) 語り合いはすごく緊張したけど、語った後スッキリした

今日は、6時間目に語り合いがありました。自分が発表するまでは心臓バクバクで、飛び出てくるかと思って焦りました。前に出て発表する時も、足がガクガクで手もブルブル震えて、ずっと左手で押さえていました。とても緊張したけど、自分の思いを語れてスッキリしました。他の子の語りは、同い年とは思えないくらいすごかったです。次も頑張りたいです。

4月18日(木) 3Bで最高の思い出をつくりたい

今日は、5時間目にみんなで「最終学年のスタートラインに立って」の語り合いをしました。私のクラス3Bでは、1番最初に委員長のKさんが発表していました。それはもう、惚れ惚れするような語りで、みんなもそのすごさに圧倒されていました。そして、T君、K君と次々と心を動かされる発表がたくさんありました。50分がアツという間で、こんなにも考え方がガラリと変わったことは初めてです。「〇〇高校に行きたい」と宣言する人。「行きたい高校をこの1年で見つける」と宣言した人。いろいろな人がいました。私は最後の方に語ったんですが、途中でチャイムが鳴ってしまい、少し言おうとしたことがフェードアウトしてしまいましたが、最後まで言えてよかったです。私が宣言した通りこの「3B」で最高の思い出をつくりたいです。

4月18日(木) 何も見ずに長い文を語れて感じた、すごい達成感とスッキリ感

今日は、「最終学年のスタートラインに立って」という語り合いをしました。自分は13番目に発表をして、順番が近づいてくるにつれて心臓のドキドキが大きくなりました。みんなそれぞれ高校受験に向けての目標があり、3年B組の「努力していこう」という気持ちが伝わってきました。私も、2つの目標を達成するとクラスの前で語ったので、とてもやる気につながりました。今回の語り合いをして、中学3年生という大切な学年を1日1日楽しく大切に過ごしていきたいと強く決意しました。

森口先生に、発表が終わった後「素晴らしい。すごいよ」と言われて、とても嬉しかったです。1、2年生の頃の「峠」は、作文用紙を見て語ったり3行くらいの短い文にまとめたりして語っていたので、今日何も見ずに長い文を語れて、すごい達成感とスッキリとした気持ちです。これから卒業するまでに、全員が語る機会はないかもしれませんが、自分で手を挙げて語っていききたいです。森口先生に1年生の時より成長したと思ってほしいです。

4月18日(木) 受験生なので、しっかり達成していききたい苦手教科の克服

今日の5時間目は、作文野発表がありました。最初は、原稿用紙を見ながら語ろうと思っていたけど、前の人が全員自分の言葉で発表していたので、私も頑張って話すことができました。毎回、頑張りたいことを語っているけど、1度も達成したことがありません。今回は苦手な教科を克服すると話しました。今までは受験生ではなかったので良かったけど、これからは受験生なので、しっかり達成して行きたい高校に行きたいです。

4月18日(木) 1つ1つの峠に向き合い、未来に怯えるような人間にならないようにしたい

今日は、「3年生のスタートラインに立って」の語り合いがありました。入試がもう近くなってきているということについて語った人がほとんどで、僕もその1人です。1回1回のテスト、1回1回の部活全てのことが峠で、入試や大会での中間地点でもあります。この1つ1つの峠に向き合っていって、未来に怯えるような人間にならないようにしたいです。

4月18日(木) 語り合いの発表で、自分のこれからの目標を言い切れた

今日は、6時間目に森口先生との語り合いの授業である「最終学年のスタートラインに立って」をしました。私は最後から3番目の発表だったので、自分の番が来るまでずっと緊張していました。それまでみんなの発表を聞いていて、中には、具体的な高校名を出して宣言している人もいて、とてもカッコイイと思いました。私の第1志望と同じ高校を「行きたい」と宣言している人がいたので、「私も負けていられないな」とも、同時に感じました。そして、自分の番はチャイムが鳴る5分くらい前にやってきて、ずっと緊張していたけれど、マイクを握った時のドキドキは、比にならないくらいでした。正直、自分が何を語ったのかはよく覚えていませんが、なんとか、自分のこれからの目標を言い切ったので、安心しました。

これからは、部活と勉強を両立しながら、しっかりと目標を立てていき、成績を上げられるように、そして、部活も残りの大きな演奏ができるのは、夏の吹奏楽コンクールや文化祭などしかないので、1日1日を大切にしていながら努力していきます。そして今日、GW明けの5月7日の実力テスト範囲表が配られたので、今日から勉強を頑張りたいと思います。

4月18日(木) 語り合いの発表、真剣に聞いてくれて最後は緊張がなくなっていた

5時間目に語り合いの授業をしました。1番最初にマイクを持ったKさんがすごくびっくりしたら、その次に、Sさんも去年とは違う感じがして、Kさんが雰囲気を変えていてすごいなと思いました。それからどんどん流れて行って、自分の番が来た時、とても緊張したけど、みんな真剣に聞いてくれて、話しが最後の方になると緊張がなくなっていました。自分の発表の後、すごくスッキリした感じがして嬉しかったです。本当は言うつもりはなかったけど、みんなが自分の志望校を言っていたので、私もつられて言っていました。そこに行くために頑張ります。

4月18日(木) 語り合いの発表、声が震えたけど言いたいことが言えてよかった

今日は、5時間目に語り合いの授業がありました。私が発表したのは、真ん中くらいで思っていたよりも早かったです。みんなの発表を見ていると、原稿用紙を持っていないのに、スラスラと自分では言えないようなことを言っていてすごかったです。自分の番がまわってきて発表を始めると、最初はスラスラ話せていましたが、途中で声が震えてしまいました。でも、言いたかったことを言えたのでよかったです。今日の語りのように、受験の面接でも頑張りたいです。

4月19日(金) 中学最後の縦割り班活動が最高のものになってよかった

今日は、縦割り班活動がありました。「ハマリンさんが転んだ」をしました。RHさんがめちゃめちゃ頑張ってくれて、思った以上にみんなが楽しんでくれました。みんなをリードしなきゃと焦っていたけど、私の班の人たちがフレンドリーで、自己紹介の時にすごく仲良くなれました。中学最後の縦割りが、最高のものになってよかったです。そして、土曜日に参観日がありました。城所先生の道徳がすごく心に残りました。「生命尊重」がテーマでした。戦争や事故で亡くなった人たちは、私は「ひとごと」に捉えていたなと思いました。これから学ぶ人権学習は、「わがごと」として考えていきたいです。

4月20日(土) これからは、自分のことを受け入れて好きになれるようにしたい

今日は授業参観がありました。私たちのクラスは山下先生で、「ひび割れ壺」というものを行いました。この授業を通して、自分の個性について考えるきっかけとなり、自分で短所と思っていた面も、見方を変えると長所にもなることがあるんだと気づかされました。私は正直、まだ自分の短所が嫌いで、それも個性だと思えていません。でも、これから少しずつ自分のことを受け入れて、好きになれるようにしたいなと思います。

4月20日(土) 母は優しくて大好きです

今日は、授業参観がありました。母は忙しくて来れなかったけど、朝、「頑張れ」と言ってくれました。嬉しかったです。母は優しくて本当に大好きです。でも、すぐにケンカをしてきつい言葉を言ってしまうこともあります。そんな自分を見直したいです。

4月20日(土) 参観日、周りの人が「妹と弟、かわいい」と言ってくれて嬉しかった

今日、参観日でした。お母さん、お父さん、妹、弟のみんなで来ました。妹は静かにしてくれていたけど、弟は私の隣で「ねえーねえー」と大きな声で言われました。恥ずかしくて顔が真っ赤になったけど、周りの人たちが「妹と弟、かわいい」と言ってくれたので、嬉しかったです。

4月20日(土) 今日発表したことを必ず毎日続けたい

今日は参観日でした。発表中、緊張のし過ぎで声が震えてしまいました。けど、お母さんがうなずきながら、笑顔で発表を聞いて、とても安心しました。今までずっと覚えていたことをただただ言うというような感じだったけど、今日は、受験に向けてこれから頑張ろうという決意を込めて、自分の言葉で宣言をしたので、いつもより発表した後にスッキリしました。発表したことを必ず毎日続けたいです。

4月20日(土) 参観授業の「権利の熱気球」を通して考えたこと

今日、参観授業がありました。僕はA組で何の授業をするかとても楽しみでした。そして、今日の授業は、「権利の熱気球」というタイトルでした。僕たち1人1人が熱気球に乗っており、今14個の権利を持っているけれど、気球が重さに耐えられず落ちそうになっているので、自分の中で必要ではない権利を落とし気球を守るというものでした。

僕の最も必要な権利は、「毎日十分な食料と水を得られる権利」でした。最も必要でない権利は、「好きな本を読める権利」でした。人それぞれ意見は分かれましたが、僕は本を読むことがあまり好きではないので優先順位が低いですが、本好きな人から見れば上位になると思います。グループで話し合う中で、たくさんの意見が生まれ、とてもいい参観授業でした。

4月20日(土) もっと努力して自分に自信を持ち、夢を叶えます

今日は参観授業でした。私たちC組は、「峠」についての語り合いでした。私は、自分の夢を初めて具体的にクラスの人に伝えました。何か言われたらどうしようとも思ったけど、叶えたら何も言われないし、夢を持つことは自由だから自信を持って語りました。正直、今のままでは難しい夢です。それでも私は決して諦めません。語れる仕事に就いてやりたいことがたくさんあるからです。夢を叶えるまでの道のりは果てしなく遠いです。時には挫折も失敗もあると思います。でも、その度に落ち込んでいては何もできないと思います。だから、もっと努力して自分に自信を持って頑張っていきます。そして、夢を叶えます。

4月20日(土) 「どの権利が大事か」多くの意見に学びながら成長していきたい

今日は参観授業があり、思っていたよりたくさんの方が来ていて驚きました。私は恥ずかしいので、母は来ていなかったけれど、いつもと違う感じの授業でした。「どの権利が大事か」というテーマで、私の班は「毎日十分な食料と水を得られる権利」が一番大事だと考えたけれど、他の班は「愛し愛される権利」だと言っていて驚きました。

私は正直なところ、生きるためなら食料や水は欠かせないので、「愛し愛される権利」は選びません。でも、友だちは誰からも愛されなかったり、誰のことも愛せなかったりしたら辛いかなと話していて、それもそうかもしれないと感じました。どちらが大事かはわからないけれど、これからは人の意見を取り入れて考えていきたいと思っています。

4月20日(土) 私たちにある権利は、どれもなくなるとはいけないと思うので大切にしたい

今日は参観日でした。「権利の熱気球」の学習をしました。自分が生き残るためには権利を一つずつ落としていかなければなりません。私が最初に落とすなら「自分の好きな本を読む権利」を落とすと思います。なぜなら、今はテレビやスマホなどで気軽に情報を得られるからです。最後まで残すのは、「十分な水と食料を得る権利」です。そもそも水と食料がないと生きられないからです。

この2つは、少し時間が経ってから考えてみたものなので、ワークシートに書いたものとは違うかもしれません。ですが、私たちにある権利はどれもなくなるとはいけないと思うので、大切に生きていきたいです。

4月20日(土) いろいろなことを意識して生活していきたい

今日は参観日で、授業には父と妹が来ていました。いつも通り、道徳は楽しくて友だちとたくさん話し合うことができました。様々な権利があるおかげで、私たちの平和で楽しい日常が保たれていると思われ知らされました。

私たちの普通となった「平和な日常」は、人々の手によって守られていることを自覚してこれから生活していきたいと思いました。「きれいごと」(口先だけ)だと自分でも思うけれど、ノートに書き残して、少しでも意識すれば自分が変わるのだと思いました。これからはいろいろなことを意識して生活していきたいです。

4月21日(日) 人権学習から新しい考えを吸収し成長していきたい

僕は、今日「人権こども塾」に参加しました。今まで1、2年生の時には行っていませんでしたが、3年生になり初めて参加しました。共同代表の森口先生、吉成先生が中心となり、たくさんお話を聞くことができました。特に心に残ったのは吉成先生の講話で、人権問題・差別問題すべてに共通することは「国が積極的に解決したいわけではない」ということです。

要求されれば国は動きますが、要求されなければそのままです。そうすると、差別意識が後世にも植え付けられていき、ずっと差別が続いていくということを学びました。これからたくさんの新しい経験ができるので、新しい考えを積極的に吸収したいです。

4月21日(日) 今日は、私の友だちと森口先生の誕生日です

今日は私の友だちと森口先生の誕生日です。65歳を迎えるそうで、私たちとは半世紀年の違う人生の大先輩です！！私が先生の歳になった時、私は何をしていますでしょう。家庭菜園とかですかね？

(担任コメント)

いや、皆さんが65歳の時にはバリバリ働いていないといけない時代ですよ。

4月21日(日) 自分の語りをみんなが真面目に聞いてくれる場で、人前で話すことが少し好きになった

今日は、「人権こども塾」に行きました。3期生も何人か入ってくれたので、1年間このメンバーで楽しく学習していきたいです。「中学生交流集会」や「人権こども塾」に参加して、人権学習に対する意識がいい意味で変わってきたと思います。参加していなかったら、自分の意見を発表するのが苦手なままだったと思います。でも、自分の語りをみんなが真面目に聞いてくれる場に行くことができ、少し人前で話すのが好きになりました。「中学生交流集会」や「人権こども塾」に参加できてよかったと思っています。高校生でも参加したいです。改めて、1年間よろしくお祈りします。

4月21日(日) 初めての人権こども塾に参加して思うこと

僕は、今日初めて「T-over人権教育研究所・人権こども塾」に参加しました。最初は、何をしているところなのか、何を目的としているかなど、全く理解していませんでした。僕は今まで断ってきていましたが、中学校での語り合いの授業で自分に自信ができ、新しい経験や新たな発見を見つけるためにこの塾に入りました。

今日は、共同代表の森口先生、吉成先生を中心とし、この塾の意味、人権学習をするわけなどを学ばせていただきました。特に心に残っているのは、吉成先生の「部落問題」「差別問題」「ハンセン病元患者に対する差別の問題」に共通していることは、「国や政府が積極的に解決しようとしていない」ということです。僕はその事実を聞いて、とても国に対する怒りなどは込み上げてきました。「国が解決しなければ、誰が解決すればいいんだ」「国家全体で取り組んでいかなければ、永遠に差別の問題は残り続け、後世に受け継がれていく」と思いました。

僕たちは今、差別問題の解決に「一歩」「1mm」でも近づくために人権学習に取り組んでいます。これからたくさんの経験をしていく中で、「ひとごと」ではなく「わがごと」として、真摯にこの問題に取り組みたいです。また、他人の意見を自分の中に吸収し、視野が広く多種多様な考えができる人間に人権こども塾を通してなりたいし、そういう人が少しでもこの塾の中で増えて欲しいです。

4月21日(日) 今年度最初の人権こども塾の学んだこと

今年度、最初の「人権こども塾」でした。3期生も何人かいて、今年度も仲良く学んでいけたらなと思っています。今日は、吉成先生と森口先生がお話してくださった人権への熱い思いがすごく心に残りました。日本の特別支援学級のお話は、今まで考えたこともなかったもので、家族にも伝えようと思います。詩「峠」のお話は、毎年、4月の学級開きの時、学校で語り合いの授業があるので、改めて聞く感じになりました。

先週の学活では、「中学3年のスタートラインに立って」というテーマで語り合いをしました。私は志望校が決まったので、その高校に合格できるようにしっかり勉強を頑張りたいです。また、教科書を無償で配布してくれている国と、教科書無償の闘いを貫いた高知の被差別部落の人々に感謝したいと改めて思いました。

今回の語り合いの場面では、みんなが自分の言葉で気持ちを語っていて、学校でもみんなが語る場面が増えたらいいなと思いました。「人生の主人公は誰か」という話について、小学生の時の友だちについて、学校での語り合いの授業についてなど、内容も様々だったので、聞きながら自分の考えを深めることができたと思います。毎回、すごく内容の濃い語りを聞くことができているので、自分の考えも、より良い方向に行っていると思います。

これからも、人権こども塾の活動や、学校の語り合いの授業などを通して、語る力を発揮していきたいなと思います。夏に向けて、「人権を語り合う中学生交流集会」もあるので、しっかり周りの人の意見も聞いて、自分の考えを堂々と語りたいなと思いました。

4月22日(月) 私は、Aちゃんの語りが楽しくて好きです

昨日、「人権こども塾」に行きました。開講式で新しいメンバーが増えていて、また話せたらいいなと思いました。それぞれが語っていく中で、同じクラスのI君が「この前の授業ではみんなが笑っていて集中していなかった」と言っていました。確かに、私もこの前の授業はもっと真剣に受けるべきだと思っていたので同じ意見でした。

その後、同じクラスのAちゃんが「私が発表した時に、みんなが笑ってくれて嬉しかったけれど、真剣に受けたかった人には申し訳なかった。ごめんなさい。」と泣きながら発表していました。でも、私はAちゃんの語り方が楽しくて好きです。

Aちゃんが語っていた時にみんなが笑っていたのは、冷やかしかたではないです。でも、一部のクラスメートは、人権とは別の話でふざけて笑っていました。それはよくないと思います。

I君もそのことが嫌だったんだと思います。だから、Aちゃんは、そんなに自分を追い込まないでほしいです。そのことがAちゃんにうまく伝わっていないかもしれないので、心配です。明日学校で、また声をかけたいと思います。

4月23日(火) 語り合いの発表、自分の失敗や思っていることを堂々と語るクラスメートをすごいと思った

今日、学校でFさんが、やっぱりちゃんと発表している人から見たら、自分の発表はあまり真面目じゃなかったみたいなことを言っていました。でも、私は自分の気持ちを言えていたので、真面目じゃないわけではないと思います。むしろ、最後だったのにすごく自分の失敗や思っていることを堂々と語っていてすごいなと思います。真面目というのが何なのか、私にもわかりませんが、語り合いの場で堂々と自分の気持ちを言えているということは、不真面目ではないと思います。だから、これからの語り合いの授業でも自分の意見をしっかり語ろうと思います。

(担任コメント)

I君とFさんの語り合い、心が熱くなりました。2人とも真剣であり純粋であること。ここにできる絆は本物です。人権こども塾はすごい学習の場になっていくと思います。これこそが語り合いのよろこびです。

4月24日(水) おかしいこととおかしいと言える、強い心の格好いい女性になりたい

今日の社会の授業では、「普通選挙」「全国水平社」「治安維持法」について勉強しました。選挙は18歳以上の人がするものだと思っていたけど、昔は女性は参加できず、男性だけだったということを知って、「どうして男性だけ？女性の意見も聞かないと平等じゃない！」と思いました。女性は男性より弱いのは当たり前のことだと思うのに、そこで差別をするのはおかしいことだと思います。その差別に立ち向かった平塚雷鳥(たいてう)さんは本当に格好いいなと思いました。私は、もし自分が差別される立場に立っても、怖くてなかなか言い返したりできないと思います。だから、私はおかしいことは「おかしい」と言える強い心を持った、格好いい女性になりたいです。

4月24日(水) 1週間以上経っているけど、1ページ以上の生活ノートを書き続けていこうと思う

今日は、1週間の勉強量の合計を計算して、そこからクラス1人当たりの勉強量を出しました。B組が14、4時間で、C組は20時間くらいだろうと思っていたけど、結果は14時間でびっくりしました。城所先生は36時間してくださいと言っていたけど、36時間は程遠くてびっくりしました。言うのと、私も14時間くらいしか勉強してなかったので、そんなに悪く言えませんが、最近なんだかやる気が出ているので、そのまま頑張りたいです。この生活ノートの前ページの城所先生のアドバイスも取り入れて、ちょこちょこ頑張っていこうと思います。

私は今、すごく自分でもびっくりしていることがあります。それは生活ノートを1ページ以上書くということです。学年の1番最初に生活ノートを書く時、1年の時も、2年の時も、10行くらい初日は書いていたけど、どんどん少なくなっていく最終的に1、2行になっていたから、きっと今年も1日坊主になるんだなと思いつつも、頑張って1ページ以上書きました。

そして次の日、「まだやる気があるから今日も1ページ書こう」と思って、1ページ以上書きました。そもそも1ページ以上書いたことがなく、最初スラスラと余裕で1ページ書けた自分がとても怖かったです。

今まであんなに頑張っても10行くらいしか書けなかったのが、40行以上かけているのが本当に驚きでした。「自分はどうしたんだ」「急に覚醒してる!」と思いつつ、2日、3日ずっと1ページ以上書いていると、どんどん習慣になっていって、「毎日絶対1ページ以上書かなあかん」と思うようになってしまいました。

今はもう1週間以上経っているけど、ずっと1ページ以上書けていて、これからもずっと続けていこうと思っています。自分の中で、今のところ生活ノートがこれだけのページを書いているのは自分だけだと思うし、そうじゃなくても、今までの私とは比べものにならないレベルで成長しているのだから、この調子でモチベーションを上げていき、どんどん成長して行けたらいいなと思います。

最初は、「できるかわからない」「できないだろう」と思っていたけど、チャレンジしてみることで意外な結果に出会えるかもしれません。私は、もともとチャレンジ精神があるので、どんどん挑戦して新しいことを得意にできるように、苦手なことも得意にできるようにしたいです。

この生活ノートから、習慣にすることはとても大切なことだと気づかされました。習慣にすることにより、達成感も味わうことができるし、「自分は続けることができている」というモチベーションにもなると思うので、この生活ノートを習慣づけていきたいなと思います。

私は、昨日、お母さんが仕事で、私が学校から帰っていませんでしたので、お母さんが帰って来てからゆっくりできるように、家事をしてあげようと思いました。洗濯はまだ慣れていなくて、「これであっているのか?」と不安だったけど、無事できてよかったです。

お母さんが帰って来て、言ってみたら、「すごいな!」とめっちゃ褒めてくれてすごく嬉しかったです。「親孝行できとる」と言ってもらえて、また頑張ろうと思えました。今週は終わるのが早いので、疲れているお母さんを休ませてあげようと思います。なので、またお手伝いをしようと思います。お母さんに嬉しいと言ってもらえると、私も嬉しくなります。たくさん褒めてもらいたいのだから、家事以外にもたくさん手伝ってあげたらいいなと思いました。

(担任コメント)

褒めてもらえたり喜んでもらえたりすると、すごく嬉しいですね!これからは家族を大切に、支えてくださいね。自分の良いところをきちんと認めるといのは、とても大切なことですね。これからはどんどんチャレンジしていきましょう。

4月24日(水) シャトルランをして思ったこと

今日は、シャトルランをしました。する前は、50くらいいいけたらいいなとか、去年の記録を越えればいいなと思ったけど、最後の方になって、去年の記録の63と聞かされた時、もっといきたいという気持ちになりました。前日の部活の練習がとてもきつくて筋肉痛だったけど、70回までいけて嬉しかったです。終わった後、先に走り終わった子が、「お疲れさま!」や「ナイスファイト!」と元気に言ってくれて、少し悔しかった気持ちが飛んでいきました。女子の最後に走り終わった子が止まった時に、みんな拍手をしていて、いいクラスだなと思いました。男子は120回を超えている人がいて、怖くなりました。バスケットボールをしていなかった1年生の時に比べて90回も増えたのですごく満足しています。高校でもあると言っていたけど、部活を引退したら体力も落ちるので、70回越えは難しいけど、頑張りたいです。

4月25日(木) やってみることも、努力することも、継続することはすごく素晴らしいことだと実感した

今日の4時間目に、学級目標を決めました。みんな四字熟語だったり生物と関連付けたりしていたけど、1人ずつ抜けてすごいのがありました。それが最終的に学級目標になった「笑楽備持」です。これは、「わらびもち」と読みます。ちゃんと意味もあって、深いなと思いました。私も想像力を豊かにしたいなと思いました。

今日、お母さんが教育相談に行っていました。私は、お母さんが教育相談に行く前に、お母さんに「めっちゃ褒められると思う」と言いました。なぜなら、私は3年生になってから、自分なりに頑張っていると思うからです。

10行書いたら素晴らしいくらいの生活ノートが、3年生になると毎日1ページ半くらい書けるようになって、明日でもう2週間です。1、2日で終わるだろうなと思っていたことが13日も続くとは思っていませんでした。

私たちの学年は、優秀な人が多いので生活ノート1ページくらい余裕で書くことができる人がたくさんいると思います。でも、1年生の頃1~2行で、2年生で5行の私が、3年生で1ページ半書き続けていると思うと、やってみることも、努力することも、継続することはとてもすごく素晴らしいことなんだと実感しました。

1年生の時は、「1ページ書ける人なんておらん」と思っていたけど、3年生になったら、まさかの自分が1ページ書いていました。今日も1ページ半書こうと思います。すごく遠いなと思っていたことができ、継続できていると、すごくモチベーションが上がるし、いろんな人に話したくなります。

でも、本当にすごい人は、陰で努力していて人に言わないので、本当にすごい人を目指して、3年生はずっと1ページ半書いていこうと思います。たまに話題がなくなったりするけど、そうなったら、生活ノートには、自分の頑張りを書こうと思います。

森口先生はよく「生活ノートは生涯の宝物」と話してくれるけど、1年生の時は、その意味が全くわかりませんでした。こんなノートが宝物になるわけがないと思っていました。でも、昨日久しぶりに、小学校の時の写真や赤ちゃんの時の写真を見たとき、赤ちゃんの時の顔は、全表面影がなく、「この子、めっちゃ可愛い」と癒されていました。それでよく考えたら、こんな感じで残しておけば、「昔こんなだったな」「こんなこと書いたな」「こんなに頑張った」と思い出せて、生活ノートを本気で書き続けるのことは、本当にすごくことなんだと思いました。

中学3年のスタート、生活ノートの良さに気づくことができたので、自分の思いや願いをたくさん書いて、たくさん思い出をつかっていこうと思いました。そして、すごく頑張った1年、すごく思い出のある1年にしたいです。

4月25日(木) 豊田さんのメッセージや生活ノートを糧にして、最高の人生にしていきたい

今日4時間目に森口先生の授業がありました。学級目標を決めた後に残った時間で、森口先生の教え子で、レスリングでオリンピック出場経験のある豊田雅俊さんからのメッセージを聞かせてくれました。豊田さんは、中学2年生で森口先生と出会い、生活ノートに出会い、人生が変わっていきます。僕も3年間生活ノートを書き続けていますが、少し少ない行になることもあります。自分の本心を綴らず「きれいごと」を並べてしまうこともあります。でも、毎日継続することで、自分の中で文章力がついたり、習慣的に本心を綴ることができると思います。これからは、豊田さんのメッセージや生活ノートを糧として、最高の人生にしていきたいし、自分にとって何か意味のあるものにしたいです。

(担任コメント)

そうですね。何事も他人のせいにするのは簡単ですし、意味のあるものにするのは自分次第だと思います。

4月25日(木) 豊田さんから学んだ「挑戦・選択」をし、全力で峠を越え、よりよい人生を送れるよう頑張っていきたい

僕は、豊田さんのメッセージを聞いて、人生にはいくつもの峠があり、それを乗り越えてきたからこそ、今の豊田さんは素晴らしい人生を送っているんだと思った。また、人生は選択の連続で、選択に正解等は特になく、その選択が今後の自分をつくっていくのだと学んだ。それと、僕はこれから挑戦し続けることをやめないようにしたいと思った。僕は、「目の前の壁は乗り越えられる人しかやって来ない」というような言葉が何となく心の中に残っており、挑戦しないと新しい壁はやって来ないし、挑戦を続けた人だけしか見えてこない素晴らしい世界があると思うので、挑戦・選択をして、学びながら峠を越え、より良い人生を送れるようこれからも頑張っていきたい。

(担任コメント)

豊田さんの言葉が、しっかりと心に染み込んでいることに感動です。

4月25日(木) 豊田さんに学ぶ諦めないよう、夢を書いている紙を眺めながら頑張りたい

私にも将来の夢があります。志望校に合格するためには、もっと点数がいきます。私は少しでも点数を上げたくて頑張っています。暗い洞窟の中で、1人必死に光を探しているような感じです。少しでも点数を上げたいけれど、現実はどうもうまくいきません。勉強がわからなくて、何度も諦めそうになりました。実際、何度も逃げたことがあります。けれど、今は諦めそうになっても、心の奥に秘めている希望や将来を思い出して頑張っています。豊田さんのように夢を叶えたいです。けれど、やっぱり現実が優しくなくて、茨の道を素足で歩いているようなものです。私は少しでも努力して、素足から靴下へ、靴下から革靴へ、革靴から運動靴へ。そうやって、茨に抗って行きたいと思います。そして、豊田さんのように前向きに頑張りたいと思います。諦めないように、日々夢を書いている紙を眺めたいです。豊田さんのメッセージを心に刻みつけ、しっかりと頑張り抜くことを誓います。

4月26日(金) 国語の時間に確認したことを気をつけながら、もっと上手く早く作文を書けるようにしたい

今日の国語は作文問題で、点が引かれないうように説明を受けました。注意点を確認していきました。いつもしっかりできていることもあれば、間違っているところもありました。その後は練習で作文を書きました。確認した点に気をつけながら書いていきました。思ったより早く書くことができました。いつもは考え過ぎて、少し書き終わるのが遅かったので、嬉しかったです。もっと作文を早く書くようにしていきたいです。

4月28日(日) 初めて、祖谷のかずら橋に行きました

今日は、人生で初めて祖谷のかずら橋へ行きました。着いて実際に見て見ると、とても景色がきれいで、着くまでの道中もとても素晴らしい眺めでした。また、かずら橋も、家族みんなで渡り切ることができました。最初は、「全然いける！」と思っていたけど、渡り切るまでが長くてだんだん怖くなりました。でも、なんとかいけたので良かったです。

4月30日(火) 作文の採点基準を徹底的に教えてもらうことができました

今日は国語の授業で、テストに出てくる「作文の採点基準」を徹底的に教えてもらうことができました。作文は上手い文を書こうと頑張るのではなく、満点を取ることでできる文を書こうと頑張る方がいいと聞き、「なるほど」と思いました。でも、実際に作文を書くのが難しく時間が足りなかったの、良く練習して、次の実力テストで、作文の15点満点を目指して頑張ろうと思います！

(担任コメント)

大切なポイントです。特に、「NGワード」は頭の中に叩き込んでおきましょう。この生活ノートを書く時も気を付けておくといいですよ。

4月30日(火) 目の前のことをコツコツ積み上げながら、自分でびっくりする自分になりたい

今日は、1時間目に社会がありました。第一次世界大戦の内容は難しいので、ノートをしっかりまとめて内容を理解していきたいです。僕には絶対に行きたい高校があるので、そこに向けて日々勉強と心を清めて、自分でびっくりする人になりたいです。そのためには目の前のことをコツコツ積み上げて着実に進めたいと思います。

放課後は部活がありました。もう、僕たちは部活をやめるけど、後輩たちは続けていくので、最後の最後まで自分にだけは嘘をつかずに、全力で取り組んでほしいです。結果は僕的にはあまり関係なくて、諦めずに最後まで取り組む姿勢だけでも大切だと思います。「やらない後悔よりやった後悔」この言葉を心の糧に頑張っていきます。

(担任コメント)

私も好きな言葉です。どんなことにも全力で取り組んで、夢を実現させていってくださいね！！

4月30日(火) 生活ノートの先生の返信を見て、本当にいい先生に出会えてよかったと思った

今日は、先生たちの生活ノートの返信を見ていました。中学生になって本当にいい先生方に出会えてよかったなと思いました。いい友だちにも恵まれて本当にみんなに感謝しています。もう、中学生が終わるまでに少ししかありません。これまで出会ってきた人たちに、できるだけ感謝を返していけたらいいなと思いました。

(担任コメント)

そんなに褒められたら照れてしまいますねえ。私は皆さんと出会ったことに感謝しています。

5月1日(水) 「松中の絆」を読んで、人の良い部分を取り入れて、新しいより良い自分になりたいと思った

今日、「松中の絆」が配られました。1番印象に残ったのは、「生活ノートのマイルール」というものです。「消しゴムを使わない」「字もマスも気にしない」「内容を縛らない」すごく共感できました。私は、今まで間違えたり、何か違うなと思ったら、消しゴムで消して書き直していたので、「消しゴムを使わない」というのをまねしたいです。人の良い部分を取り入れて、少しずつ、新しいより良い自分になりたいです。

5月1日(水) もっともっと、自分だけの生活ノートをつくっていけたらいいと思います

今日は1日を大切にできたと思います。周りの人たちが頑張っていると、私も頑張ろうという気持ちになります。明日学校に行ったらゴールデンウィークがあります。私は、今回のテストで目標があります。絶対に無理でも逃げたり諦めることはしたくないです。このゴールデンウィークを大切にしたいです。そして、今日は「松中の絆」を読んで、みんなが目標にしていることや、これからの課題を決めて、しっかりと自分と向き合っているんだなと感じました。私の文も「松中の絆」に載っていて嬉しかったです。もっともっと自分だけの生活ノートを作っていけたらいいなと思います。

5月2日(木) 「キャプテンとしての在り方」のことを書いていた生活ノートから考えたこと

一昨日に配布された「松中の絆」を読み直していると、この1年でキャプテンとしての在り方が進歩した的なことを書いている人がいました。その人は、「生活ノートに悩みを書いている」とかしていました。私も今、キャプテンを務めているけど、嫌だと思ふことがたくさんありました。試合に負けたら私のせいだと思ってしまうし、正直、どうして私をキャプテンにしたんだろうと思いました。私より適任な同級生だっているし、私より頼りになる同級生もいます。私は大きな声を出せるわけでも、プレーでチームを引っ張っていける技術も持っていません。チームで私にしかできないことはすぐには見つけられないから、これから、板野郡中学校総合体育大会の日までに、見つけられたらいいなと思いました。練習も今まで以上に頑張ろうと思います。

(担任コメント)

このような生活ノートを書けることが本当にすごいことであり、キャプテンとしての大きな成長を感じます。自分にできることを全力で取り組み、最高のチームづくりに貢献してください。それができるし、それができていると思う。

5月3日(金) 友だちから「尊敬している、憧れだ」と初めて言われて前向きになれた

もう少しでテストがあります。私はすごく悔しい気持ちです。なぜかという、1年生の時よりも勉強時間が減っているからです。1年生の時は、すごく勉強に対するやる気がありました。暇なときはずっと勉強していたし、ご飯を食べる時も英単語を覚えたりしていました。でも、今の自分は暇な時はすぐにスマホを見てしまうし、勉強中でも、友だちからラインが来たらスマホを触ってしまいます。夜遅くまでスマホを見て、次の日の朝、早起きができなかったり、授業中に眠くなることが増えました。1年生の時にできていたことが、3年生になってできなくなっているということに気づいて、焦りと不安があります。

前は1位を何度も取って家族からほめられたり、先生に「すごいな。次も1位取れよ」と言われたりしていたのに、最近は全然1位を取れないし、先生から期待されたりしなくなりました。すごく頭のいい子が期待されたり、褒められたりしているのを見ると、「いいなあ」「悔しいな」「すごいな」という気持ちが溢れてきます。

「私もその子みたいに頭がよくなりたいから勉強しよう」と思って、いざ机に向かうと何故だかわからないけど、やる気がなくなります。そんな感じでやる気をなくして、中学2年が終わりました。2年生の間は、「3年生になったらきっとやる気が出てくるから大丈夫」と思っていたけど、3年生になっても私は変わりませんでした。

昨日の夜、友だちからいきなり電話がかかってきました。その友だちは、「1年の時に、Aが1位を取ったって聞いた時、すごい羨ましくて、その日からずっと勉強を頑張ったんよ。そしたら、ちょっとずつやけどテストの点が上がって来て、元々は絶対受からんって言われたって高校に受かるかもって、今日、塾の先生に言われたんよ。全部Aのおかげやで。ありがとう。ほんまに私の憧れやで。尊敬しとる。これからも仲良くしてな」と私に言ってくれました。本当に嬉しかったです。「憧れ」や「尊敬」という言葉を初めて言われて、「私って、期待されているのかも」と少し思うことができました。それと同時に、「このままではだめだ。その子の憧れになり続けるためには、もっと勉強して、良い点、良い順位を取るべきだ」と思いました。

勉強時間が減って悔しい気持だったけど、今日7時間勉強して少し自信がついたし、「明日はもっと頑張ろう」という前向きな気持ちになりました。今度あるテストは勉強量が少なかったから、いい点が取れないかもしれません。もし、いい点が取れなくても諦めずに、「次はいい点を取れる」と信じて頑張ろうと思います。そして、友だちの憧れであり続けたいです。今日の生活ノートは、きっと私にとって一生の宝物になります。こういう生活ノートを書き続けたいです。

(担任コメント)

人と人とのつながりの中で、生きる力が大きなものとなり、1日1日を充実したものとする事ができる。必死に自分と向き合い、自問自答を繰り返しているAさんの日々の努力。ひたむきに今を全力で生きる姿が人生をどんどん豊かなものとしてくれます。

今日これだけ頑張れたと自分で自分を誉めてやれる、そんな1日1日をつくり続けてください。結果も大切ですが、本気で頑張っている1日1日にこそ大きな意味があり、人生を限りなく豊かにしてくれるんだと思う。生活ノートを糧に前進を続けてください。

5月3日(金) 今日の部活のレッスンで、基礎の大切なことをたくさん知れた

今日の部活は、レッスンがありました。伊能先生に来てもらいました。レッスンは2時間でした。1時間基礎をして1時間曲をしました。基礎では大切なことをたくさん知ることができました。基礎をすることは大切なので、今日教えてもらったことをこれからしっかりやっつけていこうと思います。曲では、吹き方を教えてもらいました。ずっと同じように吹いていくと、強弱がなくて少ししょぼい演奏になってしまいます。伊能先生に教えてもらった通りに吹いて、上手な演奏にしていきたいです。今日のレッスンはとても自分のためになりました。また6月にもお世話になるので、その日までに言われたことを練習して、今日の演奏よりも上手くなったなと思ってもらえるようにしたいです。

(担任コメント)

基礎ができないと応用は絶対にできません。一流選手も必ず基礎をきちんとやりますからね！

5月8日(水) 部活に対するモヤモヤ感

今日は、部活があまり面白くないです。勝つためには基礎練習がいるんだと思うけど、基礎練習ばかりしたり先生の話しが長すぎて、ゲームをやる時間がなさすぎる。モチベーションを上げるためには何をしたらいいですか。もしくは何を考えたらいいいですか。

(担任コメント)

私も部活の顧問をしていて、チームがバラバラだとか、今ピンチだなと思った時は、あえて基礎練習を多めにしたり、話をしたりしています。もう一度、「このチームには何が必要か」「どこが弱いのか」を見るためです。確かに選手にとっては退屈かもしれませんが、中学校バレー総合体育大会まであと1カ月になった今、大切な時間かもしれません。答えになっていないかもしれませんが…。

5月9日(木) アドバイスののおかげで、やらなければならないことがわかりました

今日、先生のアドバイスののおかげで、今、僕たちがやらなければならないことがわかりました。僕も、基礎をたたき上げながら、チームを励ましていかないといけないということがわかりました。

(担任コメント)

それはよかったです。ここからが勝負です。

5月9日(木) 松茂中学校で出会った語り合いの人権学習について思うこと

松茂中学校で出会った語り合いの人権学習は、私の人生観を大きく変えてくれました。この人権学習で、最も心に突き刺さった言葉は、森口先生が自分自身のことをさらけ出し、先生が部落出身であることを語られたことです。私は、部落差別をなくするために先生になられた森口先生が本当にかっこいいと思いました。そして、板野中学校で行った全体学習のことを聞いて、周りを信頼してどんなことでも話せるこの授業を、本当に素晴らしいと思いました。

特に、2年生で学んだ板野中学校3年B組の人権学習から森口先生のすごさと、本当の思いを語り合う人権学習によって、生徒たちが大きく成長していくことを学びました。私にとって、「ひとごと」であり「きれいごと」に終始していた人権学習に対する思いが大きく変わっています。これから松茂中学校の生徒として、最後の人権作文を書くけど、私の人生の大きな支えとなる人権作文を頑張って書き上げたいと思います。

5月11日(土) 城東高校の公開授業を見に行ってきました

今日は、友だちと一緒に城東高校の公開授業を見に行きました。校門の近くは混んでいたもので、周辺で降りて歩いて向かいました。着くと、別の中学校の子たちが思ったよりたくさんいてびっくりしました。松中生は私と友だちの2人だけだったので、少し緊張しながら受付を済ませ、中へと入り、たくさんの場所を見ました。特に、入ってすぐに目に飛び込んできた「中庭」がすごく素敵でした。緑がたくさんあって涼しく、ここで弁当を食べたり、すぐそばにある食堂で買って食べたりするのは、きっと最高なんだろうなと思います。

また、1～3年のクラスも、1時間目と2時間目を全クラス見ることができて、「こういう授業をするのか」と関心を持ちました。数学では友だちと教え合ったり、英語コミュニケーション(英コミュ)や、人権の授業ではグループで話したりして、ただ座って聞くという私の想像していた授業とは違って、クラスの人たちと、たくさんコミュニケーションを取りながら授業が進んでいました。

今まで私は、城東高校は勉強に専念でき、でも、少し怖そうな高校だと勝手に想像していました。でも、行ってみると、全然違ってすごく雰囲気の良い高校でした。私が城東高校に行くには、まだ順位も得点も全然足りないし、相当努力しなければ難しいと思います。でも、今回実際に行ってみて、前より「行きたい」と強く感じる事ができました。今日から、自分の今までの生活を見直し、合格できるよう、まずは次のテストに向けて努力を積み重ねていきたいと思います。

(担任コメント)

自分の目で見ることにより、夢がより具体的になりますね。夏休みの体験授業も是非参加してみてくださいね。

5月13日(月) 今日の道徳の授業で、最後まで意志を持ち続けることの大事さが改めてわかった

今日は雨だったので、普通の授業でした。城所先生の道徳がありました。城所先生の考え方は、国語の面でも道徳でも、私と違ったところに目を向けていたり、いつもすごいなと思います。今日の道徳は「無医地区」の話でした。最後まで意志を持ち続けることは大切だと、改めてわかりました。

私の夢も諦めてしまいそうな時があるので、今日習ったことを思い出して最後まで頑張りたいです。そして、これから体育祭までの間、毎日体育祭の練習があります。任された仕事もあるので、先生たちの期待に応えられるように頑張りたいです。そして、3年D組で良かったと思える最後の体育祭にしたいです。

(担任コメント)

ありがとうございます。そう言ってもらえると嬉しいです。でも、人より変なんだと思います、私は。多面的に物事が見えるようになると、世界が広がっていきますよ。

***本気で書いた生活ノートは宝物です。中学3年としての頑張りと成長を実感する生活ノート、本当に素晴らしいです。**